

DN-508MXA

ユーザー・ガイド

inMusic Japan株式会社

安全にお使いいただくために

この取扱説明書で使用している危険防止のマーク

- /!/、このマークは、操作とメンテナンスにおける重要な指示があることを示しています。
- / ♪ このマークは、適切な電圧で機器を使用しないと、感電の恐れがあるという警告です。
- 4 このマークは、ご利用の出力コネクターが感電を起こす恐れのある電圧を含んでいるという警告です。

⚠ 製品をご使用の際は、使用上 ⚠ の注意に従ってください。 ⚠

- 1. 注意事項を読んでください。
- 2. 注意事項を守ってください。
- 3. すべての警告に従ってください。
- 4. すべての注意事項に従ってください。
- 5. 水の近くで使用しないでください。
- 6. お手入れの際は、乾いた布を使用してください。 液体洗剤は、フロントパネルのコントロール装置 を損なったり、危険な状態を招いたりする恐れが あるので、使用しないでください。
- 7. 取扱説明書に従って設置してください。
- 8. 暖房器具や調理器具、アンプを含むそのほかの音 楽機器など、熱を生じる機器の近くには、置かな いでください。
- 9. 電源プラクは、危険防止のために、正しく使用してください。アース端子付の電源プラグは、2つのプレードのほかに棒状のアース端子が付いています。これは、安全のためのものです。ご利用のコンセント差込口の形状に合わないときは、専門の業者にコンセントの取り替えを依頼してください。
- 10. 電源コードを誤って踏んだり、挟んだりしないように注意してください。特にプラグ部、コンセント差込口、本装置の出力部分に注意してください。
- 11. 付属品は、メーカが指定しているものを使用して ください。
- 12. 音響機器専用の台車、スタンド、ブラケット、テー ブルに載せて使用してください。設置の際、ケー ブルの接続や装置の設置方法が、損傷や故障の 原因にならないよう注意してください。

- 13. 雷が鳴っているときや、長時間使用しないときは、 プラグを抜いてください。
- 14. 修理やアフター・サービスについては、専用窓口 にお問い合わせください。電源コードやプラグが 損傷したとき、装置の上に液体をこぼしたり、物 を落としたりしたとき、装置が雨や湿気にさらさ れたとき、正常に動作しないとき等、故障の際は、 修理が必要となります。
- 15.本装置は、正常に動作していても熱を発生しますので、周辺機器とは最低15センチ離し、風通しの良い場所でご利用ください。
- 16.本装置をアンプに接続して、ヘッドフォンやスピー カで長時間、大音量で使用すると、難聴になる恐 れがあります。(聴力低下や、耳鳴りを感じたら、 専門の医師にご相談ください)。
- 17.水がかかるような場所に置かないでください。花瓶、缶飲料、コーヒーカップなど、液体が入ったものを本装置の上に置かないでください。
- 18. 警告:火災や感電防止のため、雨や湿気にさらさないでください。

[WEB] http://inmusicbrands.jp/denon_pro/





ユーザ・ガイド

はじめに

DN-508MXA は、RS-232C、RS-422、IP を介してリモート操作可能なプロ用 8 ゾーンミキサー、4 ゾーン アンプです。プロフェッショナル・レベルのオーディオ回路、マイク/ライン・パッド機能、BTL (Bridge-Tied Load・ブリッジ接続負荷) バランス出力、3 バンド入力イコライザー、5 パンド出力イコライザー、プライオリティ、 ディレイ、ダイナミクス、LoZ および HiZ スピーカーのサポート、自動省電力機能を備えています。ネットワー クまたはルーターに接続すると、Web ベースのインターフェイスを使用してシステムを制御することもできます。

DN-508MXA とお使いのオーディオシステムを統合する方法については、このガイドのセットアップの章を参照 してください。また、DN-508MXAの使用を開始に関しては**操作**の章を参照してください。

同梱品

- ・ DN-508MXA 本体
- ・ ユーロブロックコネクター
 - (6) 5 ピン (ライン出力 1~8 およびアンプ入力 1~4)
 - (2) 4 ピン (マイク / ライン入力 1&2 用)
 - (4) 3 ピン (マイク / ライン入力 3-6 用)
 - (5) 2 ピン (スピーカー出力 1~4 用およびミュートコネクター用)
 - (2) ジャンパー線付き5ピン(ライン出力1-4とアンプ入力1~4接続用)
- 電源ケーブル
- User Guide(英文)
- · Safety & Warranty Manual (英文)

サポート

本製品の最新情報(システム要件や互換情報など)は、DENON Professional の Web サイト (inmusicbrands.jp/denon_pro/)をご確認ください。また、修理や使用方法などのお問い合わせは、カ スタマーサポート(inmusicbrands.jp/denon_pro/support/)にご連絡ください。



機能

フロントパネル



- 1. 電源ボタン: DN-508MXA 本体の電源オン、オフを行います。
- 2. ディスプレイ:現在の設定、ステータスなどを表示します。
- 3. Volume/Sel:ディスプレイに表示されているオプションをナビゲートまたはスクロールし、ノブを押して 選択します。
- 4. **Menu:**ボタンを押すと、メニューと現在のゾーンの設定が表示されます。メニューで、**Volume/Sel**ノブを回してオプションをナビゲートまたはスクロールし、ノブを押して選択します。
- 5. Mute/Back:現在のゾーンの設定を表示するときに、このボタンを押してミュート設定を選択します。ゾー ンをミュートまたはミュート解除するには、Volume/Sel ノブを回して Mute または Unmute を選択し、 さらにノブを押して選択を確定します。メニュー内でこのボタンを押すと、前の画面に戻ります。
- Aux In (1/8" / 3.5 mm): オーディオソースをこのステレオ入力に接続するには、ステレオ 1/8 イン チ(3.5mm)ケーブルを使用します。この入力にケーブルを接続すると、背面パネルの Aux In (RCA) 入力が無効になります。
- Mic/Line インジケーター: これらのライトが異なる色を照らし、各マイク/ライン入力の信号状態を示します:
 - **オフ**:入力が信号を受信していないか、または非常に低いレベルの信号を受信しています。
 - 緑:入力が最適なレベルで信号を受信しています。
 - オレンジ:入力信号が非常に高いことを示しています。
 - **赤**:入力信号が 0dB 以上であることを示しています。背面パネルの**ゲイン**ノブを小さくするか、ソースの音量を下げて「クリッピング」(歪み)を回避してください。
- 8. **ソースインジケーター:**これらのライトは異なる色を点灯させ、AUX 入力と ST 入力の信号状態を表示します:
 - **オフ**:入力が信号を受信していないか、または非常に低レベルの信号を受信しています。
 - **緑**:入力が最適なレベルで信号を受信しています。
 - **オレンジ**:入力信号が非常に高いことを示しています。
 - **赤**:入力信号が 0dB 以上であることを示しています。ソースの音量を下げて、「クリッピング」(歪み) を回避してください。
- ソースセレクター:これらのボタンの1つを押すと、ソースを現在選択されているゾーンに割り当てまたは 割り当て解除します。ソースがゾーンに割り当てられている場合、そのボタンはオレンジ色に点灯します。ゾーンを選択するには、アウトプットセレクターの1つを押します。



- 10. 出力インジケーター:これらのライトは、ライン出力(ゾーン出力)の信号の状態を異なる色で示します。
 - オフ:出力は信号を送信していないか、または非常に低いレベルの信号を送信しています。
 - グリーン:出力は最適なレベルで信号を送信しています。
 - **オレンジ**:出力信号が非常に高いことを示しています。
 - **赤**:出力信号が 0dB 以上であることを示しています。ゾーンの音量を下げて、「クリッピング」(歪み) を回避してください。
- 11. **出力セレクター:**これらのボタンの1つを押して、ゾーンを選択します。現在選択されているゾーンのボタンがオレンジ色に点灯します。
- 12. 保護インジケーター: これらの赤い LED は、アンプ保護がスピーカー出力用に使用されているときに点灯 します。LED はゾーン 1~4 に対応します。

リアパネル



- 1. 電源入力: 付属の電源ケーブルでこの入力とコンセントを接続します。
- ライン出力:ユーロブロックコネクターを使用して、これらのラインレベル出力をスピーカーまたはその他のオーディオデバイスに接続します。5つの接続の各グループは2つのゾーンに対応します。各ゾーンにはホット(H)コネクターとコールド(C)コネクターがあり、ゾーンの各ペアはグランド(G)コネクターを共有します。各スピーカーが目的のゾーンに接続されていることを確認してください。 スピーカー出力にオーディオ信号を送るには、付属の5ピンユーロブロックにジャンパー線を使用し、ゾーン1~4のライン出力をゾーン1~4のアンプ入力に接続します。
- マイク / ライン入力: ユーロブロックコネクターを使用して、マイクレベルまたはラインレベルのオーディオ ソースをこれらの入力に接続します。各入力には、ホット(H)、コールド(C)、およびグラウンド(G) のコネクターがあります。入力1と入力2には、ページスイッチ用の追加コネクターがあります。Gain ノ ブを調節して入力音量を設定してください。
- 4. マイク / ラインゲイン: これらのノブを回して各マイク / ライン入力の入力ゲインを設定します。
- 5. Aux In (RCA):標準のステレオ RCA ケーブルを使用して、オプションのオーディオソースをこのステレ オ入力に接続します。前面パネルの Aux In にケーブルを接続すると、これらの入力は無効になります。
- 6. **ST 入力**:ステレオ RCA ケーブルを使用して、ラインレベルのオーディオソースをこれらの入力に接続します。
- 7. ミュートコネクター:2ピンユーロブロックコネクターを使用して、スイッチを接続します。スイッチは、すべてのオーディオソースからの入力信号をミュートまたはミュート解除することができます。
- リモートポート:このポートを使用すると、コンピューターを本機に接続できます。この接続には9ピン D-Sub ケーブルを使用してください。サードパーティのユーティリティを使用すると、シリアル通信で本機 を管理できます。
- 9. **リモート拡張ボート:**このポートを使用すると、別の DN-508MXA をホストデバイスに接続できます。この接続には 9 ピン D-Sub ケーブルを使用してください。サードパーティのユーティリティを備えたコンピューターを使用して、接続されたすべての DN-508MXA 本体をシリアル通信で制御できます。



- 10. RS-422 ポート:ホスト機器を本機に接続します。サードパーティのユーティリティを使用して、シリアル 通信で本機を制御することができます。この接続を行うには、RJ45 コネクタ付き標準のアナログ電話ケー ブルを使用してください。
- 11. イーサネットポート:このポートを使用すると、本機をネットワークに接続できます。ネットワークスイッチ またはルーター経由でこのポートをコンピューターに接続します。または、イーサネットクロスケーブルを 使用して直接コンピューターに接続します。この接続により、Web インターフェイスを通じて本機を制御す ることができます。
- 12. スピーカー出力:低インピーダンス(LoZ)、高インピーダンス(HiZ)または BTL (Bridge-Tied Load・ブリッジ接続負荷)でこれらの出力をスピーカーに接続するには、ユーロブロックコネクターを使用します。LoZを使用する場合、2つの接続の各グループは1つのゾーンに対応し、合計4つのゾーンに対応します。HiZとBTLを使用する場合、2つの接続のグループの各ペアは1つのゾーンに対応し、合計2つのゾーンに対応します。各ゾーンにはプラス(+)とマイナス(-)コネクターがあります。各スピーカーが目的のゾーンに接続され、配線の極性が正しいことを確認してください。
- アンプ入力:ユーロブロックコネクターを使用して、ラインレベルのオーディオソースをこれらの入力に接続します。各ゾーンにはホット(H)コネクターとコールド(C)コネクターがあり、ゾーンの各ペアはグランド(G)コネクターを共有します。
 スピーカー出力にオーディオ信号を送るには、付属の5ピンユーロブロック(ジャンパー線付)を使用して、 ゾーン1~4のライン出力をゾーン1~4のアンプ入力に接続します。
- 14. ファン:ファンの回転速度は自動的に調整され、本体を冷却します。

セットアップ

はじめに > 同梱品リストに記載されていない品目は別売となります。

サウンドシステムで DN-508MXA を設定するには:

- 1. RCA 出力(Blu-ray® プレーヤー、ステレオなど)のオーディオソースを使用している場合は、RCA ケー ブルを使用してリアパネルの ST 入力に接続します。オーディオソースは、ラインレベル(フォノレベルのター ンテーブルは不可)でなければなりません。
- 2. ユーロブロックコネクターに接続可能なアンプやその他のオーディオソースを使用している場合は、背面パネルのマイク / ライン入力に接続します。
- 3. ライン出力 1~4 をアンプ入力 1~4 に接続するには、ジャンパーワイヤー付きの 5 ピンユーロブロックを 使用します。5 つの接続の各グループは 2 つのゾーンに対応します。各ゾーンにはホット(H) コネクター とコールド(C) コネクターがあり、ゾーンの各ペアはグランド(G) コネクターを共有します。
- ユーロブロックコネクターを使用して、異なるゾーンのスピーカーを背面パネルのスピーカー出力に接続します。4オームまたは8オームのLoZスピーカーの場合、2つの接続の各グループは1つのゾーンで対応し、合計4つの出力ゾーンに対応します。70V、100V、またはBTLのHiZスピーカーの場合、2つの接続グループの各ペアは1つのゾーンで対応し、合計2つのゾーンに対応します。各ゾーンにはプラス(+)とマイナス(-)コネクターがあります。スピーカーと本機の配線の極性は、必ず正しく合わせてください。
- 5. Web インターフェイスを使用して本機を管理するには、イーサネットケーブルを使用してイーサネットポートとコンピューターをネットワークスイッチまたはルーターに接続します。コンピューターがルーターにワイヤレス接続されている場合は、そのルーターに本機だけを接続します。また、イーサネットクロスケーブルを使用して、本機のイーサネットポートを直接コンピューターに接続することもできます。



- シリアル通信を使用して本機を管理するには、9 ピン D-Sub ケーブルを使用してリモートポートをコン ビューターに接続します。サードパーティのユーティリティを使用して本機を管理します。または、RJ45 コネクター付きアナログ電話ケーブルを使用して、RS-422 ポートをサードパーティのユーティリティに接 続します。
 ヒント:シリアル通信ではなく、Web インターフェイスを使用して本機を制御することをおすすめします。 RS-232 シリアル通信によるサードパーティ製のユーティリティよりも、IP 通信経由で Web インターフェ イスを使用する方がはるかに簡単であるためです。
- 7. 付属の電源ケーブルを使用して、本機をコンセントに接続します。
- 8. すべてのオーディオソース (Blu-ray® プレーヤー、ステレオ、マイク、アンプなど)の電源を入れます。
- 9. 本機の電源を入れます。

接続例:

ゾーンスピーカーへ





操作

本機と接続された機器の電源を入れると、本機の使用を始めることができます。 **重要:**デフォルトの管理者パスワードは adminpwd です。デフォルトのオペレーターパスワードはありません。

LCDインターフェイスを使用する

表示とメニューをナビゲートする

メニューと現在のゾーンの設定を切り替えるには、Menu を押します。

ディスプレイのオプションを移動するには、Volume/Sel ノブを回します。

ディスプレイのオプションを選択するには、Volume/Sel ノブを押します。

前の画面に戻るには、Mute/Back を押します。

すべての操作をロックするには、Menu ボタンを 3 秒間押し続けます。LOCK 設定の「Apply to change?」 が表示されたら、Volume/Sel ノブを回して Yes または No を選択します。すべての操作を正常にロックする には、管理者パスワードを入力する必要があります。また、**すべての操作のロックを解除するには、**メニューボ タンを 3 秒間押し続けます。UNLOCK 設定の「Apply to change?」が表示されたら、Volume/Sel ノブ を回して Yes または No を選択します。すべての操作のロックを解除するには、管理者パスワードを入力する必 要があります。

ゾーンの管理

ゾーンを選択するには、目的の**出力セレクター**を押します。現在選択されているものはオレンジ色に点灯します。 そのゾーンに割り当てられているオーディオソースのソースセレクターもオレンジ色に点灯します。

オーディオソースのゾーンへの割り当て、または割り当て解除を行うには、目的の出力セレクターを押してから、 目的のソースセレクターを押します。現在割り当てられているオーディオソースのソースセレクターがオレンジ色 に点灯します。一度にゾーンに割り当てることができるのは、1つのソースのみとなります。

ゾーンの音量レベルを設定するには、目的の出力セレクターを押してから、Volume/Sel ノブを回します。

ゾーンをミュートするには、目的の出力セレクターを押してから、Mute/Back ボタンを押します。 Volume/Sel ノブを回してチャンネルをミュートするかミュートを解除するかを選択し、ノブを押して選択します。

メニュー

Menu ボタンをクリックし、**Preset、System**、または **Information** を選択して、対応する設定ページを 表示します。

1. Preset (プリセット)

Mic/Line:マイク/ラインソース1~6を編集する場合に選択します。選択すると、ロー・シェルビング・フィルター (SHL)、ハイ・シェルビング・フィルター (SHH)、パラメトリック・イコライザー (PEQ) の3種類のイコラ イジング方式を利用することができ、周波数 (Freq)、Gain、または帯域幅 (Q) を設定することができます。 ただし、帯域幅の制御はパラメトリック・イコライザーのみで行うことができます。また、各マイク / ライン入力 が各ゾーンに送る入力ボリュームを設定することもできます。



Source:ソース1-4またはAuxを編集する場合に選択します。ロー・シェルビング・フィルター(SHL)、ハイ・シェ ルビング・フィルター(SHH)、パラメトリック・イコライザー(PEQ)の3種類のイコライジング方式を利用 することができ、周波数(Freq)、Gain、または帯域幅(Q)を設定することができます。ただし、帯域幅の 制御はパラメトリック・イコライザーのみで行うことができます。

Output: ゾーン 1~8 を編集する場合に選択します。

- **Source Select**: Source 1 ~ 4 または Aux を選択します。Volume/Sel ノブを使ってソースを選択し、 ソースセレクターを押します。
- Source Level: 選択したソースの入力レベルを設定します。
- Source Mute: ソースのミュートのオン/オフを切り替えます。
- Mic Level:マイクの出力レベルを設定します。
- PEQ:Low、Mid-Low、Mid、Mid-High、Highの5バンドの周波数(Freq)、Gain、または帯域 幅(Q)を設定します。
- Master Level: ゾーンの全体の出力レベルを設定します。
 注:ゾーンがステレオの場合、実際には同じ出力設定を共有する2つのゾーン(例:ゾーン1~2、3~
 4)が使用されます。ステレオペアの2番目のゾーン(例:ゾーン2または4)は編集できないものとして表示されます。最初のゾーンを編集するか、Outputメニューでゾーンの設定を変更することができます。

2. System (システム)

Schedule:編集するスケジュール 1-30 を選択します。スケジュールを編集するには、管理者パスワードを入力する必要があります。

- On/Off:スケジュールを有効または無効にする場合に選択します。また、スケジュールは複数同時に使 用できます。
- Date:定期的な曜日ではなく、スケジュールを適用する特定の日付を設定します。各メニューをクリックして、Month(月)、Day(日)、Year(年)を選択します。また、月、日、または年ごとに繰り返すスケジュールを設定することもできます。
- Day of Week: (特定の日付ではなく)曜日に定期的にスケジュールを適用するには、このオプションを 選択します。それぞれの日においてオンにするかオフにするかを選択します。
- **Time**:スケジュールを適用する Hour (時間) と、Minute (分) を設定するには、このオプションを選 択します。スケジュールを 1 時間ごとに繰り返すように設定することもできます。
- Command: このフィールドには、スケジュールに割り当てられたシリアルコマンドが表示されます。シリアルコマンドは、Web Remote を使用して追加または変更できます。

Mic/Line:編集するマイク/ライン1~6を選択します。

- Name:マイク/ラインチャンネルの表示名を 32 文字以内で編集します。
- Mic/Line:マイク(Mic)またはラインレベルのデバイス(Line)の入力レベルを設定します。
- Hi pass filter: ハイパスフィルターをオンまたはオフにする場合に選択します。
- Phantom:ファンタム電源のオン/オフを切り替えます。コンデンサーマイクのほとんどはファンタム電源を必要としますが、ほとんどのダイナミックマイクはファンタム電源を必要としないことに注意してください。ファンタム電源が必要かどうかは、マイクのマニュアルを参照してください。

Source:編集するソース1~4、Aux、またはAux AGC を選択します。

- Name: ソースのチャンネル表示名を 32 文字以内で編集します。
- Gain: 各オーディオソースのゲイン調整レベルを設定します。
- Aux AGC:自動ゲインコントロール (AGC)を制御し、ゲインレベルを調整して信号のノイズを低減します。
 - Compensation Level: 信号が AGC によって圧縮された後にどれだけのゲインが補てんされるか を設定します。
 - Response Time: AGC がオーディオ信号に反応する速度を設定します。
 - Noise Gate: ノイズゲートを有効(On)または無効(Off)にする場合に選択します。オンにすると、特定の音量レベルを下回るとオーディオ信号が自動的にミュートされます。これにより、ソースが音を出さない時に、オーディオ信号に残ったノイズを取り除きます。



Output:編集するゾーン1~8を選択します。

- Name: ゾーン出力の表示名を 32 文字以内で編集します。
- Mono/Stereo: ゾーンが再生するオーディオ信号がモノラル(Mono) かパイノーラル(Stereo) か を設定します。ステレオに設定すると、実際には2つのゾーン(たとえば、ゾーン1~2、ゾーン3~4) が使用され、同じ出力設定を共有します。
 注:ステレオ出力を使用する場合、最初のゾーンを編集すると両方のゾーンに変更が適用されます。2番目
- のゾーンは編集不可能と表示されます。 ● Priority Settings: 各ゾーンには、第1優先順位と第2優先順位の設定があります。マイク/ライン 入力(「ソース」メニューで設定)が入力オーディオ信号を検出すると、そのゾーンに送信された他の信号 は減衰し(ダッキング)、入力信号が聞こえるようになります。第1優先ソースは、第2優先ソースを減衰 させます。
 - Volume:入力オーディオ信号の音量を設定します。
 - Source: Mic/Line 1-6 またはソースなし(None)の中から、ソースの優先順位を設定します。 両方の優先順位を同じマイク/ライン入力に設定すると、通常よりも大きな減衰が生じます。
 - Threshold:スレッショルド値を設定します。現在の信号を減衰させるためには、入力されるオー ディオ信号が、このスレッショルド値よりも大きい必要があります。スレッショルド値が低いほど減衰 が大きくなります。
 - Attack Time:現在の信号が完全に減衰するまでの時間を設定します。
 - Hold Time: 入力されたオーディオがスレッショルドを下回った後、現在のオーディオ信号が完全 に減衰している時間を設定します。
 - Release:入力オーディオ信号がスレッショルドを下回った後、完全に減衰した信号が元のレベル に戻るまでの時間を設定します。
 - Attenuation Level:現在の信号のボリュームをどれくらい減衰させるかを設定します(「ダッキング」)。
- Delay:受信したオーディオ信号をゾーンで再生するまでにかかる時間を設定します。これは、複数のゾーンで同じオーディオ信号を再生しているときに役立ちます。特定のエリアのリスナーには同じゾーンのサウンドが、異なったタイミングで届くことになるため、ゾーンのオーディオ出力を遅らせることで、この影響を補正することができます。
- Dynamics:これらの設定は、ゾーンの出力信号の(コンプレッションによる)ダイナミック・コントロールを決定します。
 - **On/Off**: ゾーンのダイナミック・コントロールを有効(On)または無効(Off)にします。
 - Threshold:スレッショルド値を設定します。ダイナミクスの制御をトリガーするには、入力される オーディオ信号がこのスレッショルド値より大きくなければなりません。
 - Ratio:ダイナミック・コントロールのレシオ(これは信号が元のレベルに対してどのくらい減衰する かを決定します)を設定します。
 - Attack Time: ダイナミック・コントロールが信号を圧縮までにかかる時間を設定します。
 - **Release**:入力されたオーディオ信号がスレッショルドを下回った後、圧縮された信号が元のレベルに戻るまでの時間を設定します。
 - Gain:信号が圧縮された後にどれだけのゲインが適用されるかを設定します。
 - Knee:ダイナミック・コントロールの二ーを設定します。これは、スレッショルド値で圧縮が適用されたときの「カーブ」の鋭さまたは滑らかさを決定します。ハードニーは劇的な圧縮効果をもたらし、 ー方ソフトニーはより自然な圧縮効果を得ることができます。

Amp:Amp Inputs 1 ~ 4を編集します。**Hi Impedance Mode**(70V モード、100V モード、またはオフ)、 **Hi Pass Filter**(オンまたはオフ)、**BTL**(オンまたはオフ)、**Impedance Mode**(4Ωまたは 8Ω)を選 択できます。

Mute:音楽のみ(Music)またはすべての音声信号(AII)をミュートするには、これを選択します。

Ethernet: イーサネット設定を構成する場合に選択します。**IP Address、Subnet Mask、Gateway、** または **IP Control Port** を選択して、本機が自動的にネットワーク設定を検出(**Auto** On / Off)するよう に設定するか、**Volume/Sel** ノブを使って手動で設定を入力します。 Baudrate:各ポートのボーレートを設定します。RS232C はリモートポート用で、RS422 は RS-422 ポート用です。各レートはビット / 秒(BPS)で示されます。

Time: System Time を編集します。現在の月、日、年、時、分、秒を設定することができます。本機はこ れを Web インターフェイスの最上部に表示し、スケジューリングに使用します。 また、夏時間の有効 (On) または無効 (Off) を設定することもできます。オンの場合は、その下の各メニュー を選択して、夏時間が開始、終了する月、日、および時間を設定します。Offset を選択して、時間のシフト量 を選択します。

Passwords:これらのフィールドを使用して、本機の全機能を制御できる管理者(Admin)、または特定の 機能のみを制御できるオペレータ(**Operator**)の新しいパスワードを設定します。

3. Information

Firmware Version:本機にインストールされているファームウェアのバージョンを表示します。 **重要:**本機の最新ファームウェアをダウンロードするには、inmusicbrands.jp/denon_pro/ にアクセスしてください。

Network Information: IP Address、Mac Address、Gateway、および DNS の現在の設定を表示します。

Webインターフェイスを使用する

重要:Web インターフェイスを使用するには、本機とコンピューターの両方を同じネットワークに接続する必要 があります。イーサネットケーブルを使用して、**イーサネットボート**とコンピューターをネットワークスイッチまた はルーターに接続することをお勧めします。コンピューターがルーターにワイヤレスで接続されている場合は、そ のルーターに本機のみを接続します。また、イーサネットクロスケーブルを使用して、本機の**イーサネットポート** を直接コンピューターに接続することもできます。

本機の Web インターフェイスを開くには、お使いのコンピューターでウェブ・ブラウザーを開きます。

- 本機がコンピューターに直接接続されている場合は、ウェブ・ブラウザーで http://192.168.0.1 にア クセスしてください。オペレーターのパスワードを入力する必要があります。デフォルトのパスワードはあり ませんが、既にパスワードを設定している場合は、ここに入力する必要があります。
- 本機がネットワークスイッチまたはルーター(無線または有線)に接続されている場合は、Menuボタンと Volume/Sel ノブを使って次の操作を行います。
 - i. Menu を押してメニューに入ります。
 - ii. **2. System、Ethernet、IP Address、Auto setting**の順に選択します(管理者パスワード を入力する必要があります)。
 - iii. Auto を On に設定し、変更を適用するかどうか尋ねられたら Yes を選択します。
 - iv. Mute/Back ボタンを押して前のページに戻り、再度 IP アドレスを選択します。ディスプレイに最大 12 桁の IP アドレスが表示されます。このアドレスをウェブ・ブラウザーに http://###.###.###.として入力します。管理者パスワードを入力する必要があります。デフォルトの管理者パスワードは、adminpwdです。

Web インターフェイスに表示されているコントロールを使用するには:

- Pages:ウィンドウの上部にある Output、Input、または Settings ボタンをクリックすると、下の Web インターフェイスの各ページが表示されます。
- Faders:フェーダーをドラッグしてレベルを設定します。または、その下の dB フィールドをクリックし、 コンピューターのキーボードで値を入力し、ページ内の別の場所をクリックします。
- Menus:メニューをクリックし、オプションをクリックして選択します。
- Buttons:ボタンをクリックして選択します。



- **Checkbox**: チェックボックスをオンまたはオフにして選択、選択解除します。
- Text Field:テキストフィールドをクリックし、コンピューターのキーボードで名前を入力し、ページの他 の場所をクリックします。

重要:Web インターフェイスを変更するには、まずページ上部のロックアイコンをクリックします変更を加える には、ページのロックを解除するために管理パスワードを入力する必要がありますデフォルトの管理者パスワード は adminpwd です。編集が終了したら、ページを再びロックして、それ以上の変更が行われることを防ぐこと ができます。

Output (出力)

上部の **Output** ボタンをクリックすると Output ページが表示され、各ゾーンの レベル、イコライジング、入力、ミュート 状態を設定できます。

ゾーンがステレオの場合、実際には 2 つ のゾーン(例:ゾーン 1-2、ゾーン 3-4) が使用され、同じ出力設定を共有します。 ゾーンがモノである場合、ゾーンは1つの み使用されます。

Protection Indicator:これらの赤い LED は、アンプ保護がスピーカー出力用 に使用されているときに点灯します。LED はゾーン 1~4 に対応します。

Input Menu: このメニューをクリックして、ゾーンに送信されるソースを選択します。



Signal:このランプは、ゾーンがオーディオ信号を送信していることを示します。

Peak: このランプは、ゾーンが「ピーキング」した(0 dB を超える)オーディオ信号を送信していることを示します。 このような場合は、Source または Mic/Line のフェーダーのレベルを下げてください。

Mute:ソースをミュートまたはミュート解除します。ミュートされると、ボタンが強調表示されます。

Input:このボタンをクリックすると、ゾーン入力ウィンドウが開きます。このウィンドウで、各フェーダーをドラッ グして、各マイク/ライン入力がそのゾーンに送るオーディオ信号レベルを設定します(これは、入力が他のゾー ンに送信するレベルには影響しません)。

EQ:このウィンドウで、各メニューをクリックして、**Low**、**Mid-Low**、**Mid**、**Mid-High**、**High**の5つの周 波数範囲の周波数(**Freq**)、**Gain**、または帯域幅(**Q**)を設定します。

Source:このフェーダーをドラッグすると、**Input Menu**(前述)で選択したソースの入力レベルが設定できます。

Mic/Line:このフェーダーをドラッグして、マイク/ライン入力の全体レベルを設定します。この設定は、ゾーン入力ウィンドウの設定(上記)に加えて適用されます。

Master:このフェーダーをドラッグして、ゾーンの全体出力レベルを設定します。

To Zone 5-8 / To Zone 1-4: いずれかのボタンをクリックすると、それぞれページの下半分または上半分 にジャンプします。



Input (入力)

INPUT					
- MIC/LINE					
MIC 1 SIGNAL PEAK EQ OUTPUT	MIC 2 SIGNAL PEAK EQ OUTPUT	MIC 3 SIGNAL PEAK EQ OUTPUT	MIC 4 SIGNAL PEAK EQ OUTPUT	MIC 5 SIGNAL PEAK EQ OUTPUT	MIC 6 SIGNAL PEAK EQ OUTPUT
- SOURCE					
SOURCE 1 SIGNAL PEAK EQ	SOURCE 2 SIGNAL PEAK EQ	SOURCE 3 SIGNAL PEAK EQ	SOURCE 4 SIGNAL PEAK EQ	AUX SIGNAL PEAK EQ	

最上部の Input ボタンをクリックすると、各入力(マイク/ライン入力、ST入力、または Aux入力)のイコ ライジングまたは出力レベルを設定する入力ページが表示されます。

Signal:このランプは、入力端子がオーディオ信号を受信していることを示します。

Peak:このランプは、入力が「ピーク」した(OdB を超える)オーディオ信号を受信していることを示します。 その場合、背面パネル(マイク1~6)またはオーディオソース自体(ソース1~4とAux)の Mic/Line Gain ノブの設定を絞ってください。

EQ:このボタンをクリックすると、Input EQウィンドウが開きます。このウィンドウでは、各メニューをクリックして、 ロー・シェルビング・フィルター (SHL)、ハイ・シェルビング・フィルター (SHH)、パラメトリックイコライザー (PEQ)の3種類のイコライザーの周波数 (Freq)、Gain、または帯域幅 (Q)を設定します。ただし、帯域 幅の制御はパラメトリック・イコライザーのみで設定できます。

Output:このウィンドウで、各フェーダーをドラッグして、各マイク/ラインチャンネルが各ゾーンに送るオーディ オ信号レベルを設定します。

Settings (セッティング)

上部の Settings ボタンをクリックし、Schedule、I/O Name、または System を選択して、対応する設定ページを表示します。

重要:設定をロックまたはロック解除するには、ページ上部のロックアイコンをクリックします。ロックされてい る場合は、設定を編集することはできません。これは、全体の操作が偶発的に変更されることを防ぎます。

Schedule (スケジュール)

Schedule:表示するスケジュールを選択するには、このメ ニューをクリックします。

- On/Off:これらのボタンの1つをクリックして、スケジュールを有効または無効にします。また、複数のスケジュールを同時に使用することもできます。
- Date: (通常の曜日ではなく) スケジュールを適用する特定の日付を設定します。各メニューをクリックして、Month(月)、Day(日)、Year(年)を選択します。
 ** オブションは、月、日、または年ごとに繰り返すスケジュールを設定します。
- Day of Week: (特定の日付ではなく) スケジュー ルを曜日単位で定期的に適用するには、このメニュー をクリックします。各チェックボックスをクリックして、 その曜日を選択または選択解除します。



DENON

- Time:各メニュー(HourとMinute)をクリックして、スケジュールの適用スケジュールを設定します。
 **オプションは、時間ごとに繰り返すスケジュールを設定します。
- Restore:このメニューをクリックすると、現在のスケジュールに加えたすべての変更がリセットされます。
- Save:現在表示されているスケジュールを保存するには、このメニューをクリックします。

I/O Name (I/O 名)

このウィンドウには、すべての入力(マイク/ライ ン入力、ST入力、およびAux入力)とゾーン(ラ イン出力)の名前が表示されます。各フィールドを クリックし、コンピューターキーボードを使用して 名前を入力します。Save をクリックすると名前を 保存できます。

System (システム)

- Setting File: このフィールドには、現在ロ-ドされている設定ファイルが表示されます(存 在する場合)。現在の設定ファイルをコン ピューターにダウンロードするには、
 Download をクリックします。設定ファイル をコンピューターから本機にアップロードする には、Browse をクリックしてファイルを探 して選択し、Upload をクリックします。
- Mic/Line:各マイク/ライン入力では、入力がマイク(Mic)または、ラインレベルデバイス(Line)か、ハイパスフィルターを有効(On)または無効(Off)にするかを選択します。また、マイクのファンタム電源を受信するかどうかを指定します。ほとんどのダイナミックマイクはファンタム電源を必要とせず、一方、コンデンサーマイクのほとんどはファンタム電源を必要とすることに注意してください。ファンタム電源が必要かどうかは、マイクのマニュアルを参照してください。
- Source:各 Gainメニューをクリックして、 各オーディオソースのゲイン調整レベルを設 定します。すべてのソースには、ゲインレベル を調整して信号のノイズを低減する編集可能 な自動ゲインコントロール(AGC)があります。
 - Compensation Level:信号が AGCによって圧縮された後に適用され るゲインの量を設定します。
 - Response Time: AGC がオーディ オ信号に反応する速度を設定します。
 - Noise Gate:ボタンをクリックして、 ノイズゲートを有効(On)または無効 (Off)にします。オンにすると、特定 の音量レベルを下回るとオーディオ信 号が自動的にミュートされます。これに より、音源が音を出さない時に、オー ディオ信号に残ったノイズを取り除きま す。

WORLE Construction to construct MICLINES MICE SOURCES SOURCES SOURCES ZONE3	1						
MICILINES MICI SOURCES SOURCES SOURCES ZONES		I/O NAME 🔒					
MICLINES MICE SOURCES SOURCES 2008 MICLINES MICE SOURCES SOURCES 2008 MICLINES MICE SOURCES SOURCES 2008 MICLINES MICE SOURCES 2008 MICLINES MICE SOURCES 2008 SOURCES 2008 ZONES 20							
MICLINES MICS SOURCES SOURCE 2 20183 ZONES		MIC/LINE1 M	IIC 1	SOURCE1	SOURCE 1	ZONE1	ZONE 1
MICLINES MICS SOURCES SOURCES ZONES ZONES ZONES ZONES SOURCES SOURCES ZONES ZONES ZONE ZONE MICLINES MICS ALX AX ZONES ZONE ZONES ZONE		MIC/LINE2 M	IIC 2	SOURCE2	SOURCE 2	ZONE2	ZONE 2
MICLINES MICS MICS SOURCES SOURCES 2006 2 2006 3 20006 3 20006 3 2006 3 2006 3 2006 3 2006 3		MIC/LINE3 M	IIC 3	SOURCE3	SOURCE 3	ZONE3	ZONE 3
MICLINES MICS AUX AUX ZONES ZO		MIC/LINE4 M	IIC 4	SOURCE4	SOURCE 4	ZONE4	ZONE 4
MOCLINES MOCO SYSTEM CLOCATURE CONTROLOCK SETTIONS SYSTEM CLOCATURE CONTROLOCK SETTIONS SETTING FILE NO FILE BROWSE UPLOAD DOWNLOAD MIC/LINE MIC/LINE MIC LINE HI PASS FILTER ON OFF PHANTOM ON OFF HI PASS FILTER ON OFF		MIC/LINE5 M	IIC 5	AUX	AUX	ZONE5	ZONE 5
ZONE? ZONE Z ZONE Z		MIC/LINE6 M	IIC 6			ZONE6	ZONE 6
ZONE 3 ZONE 3 EXCERNANCE SYSTEM CLICK-TAILLOCKEDFICON TO LOCK SETTINGS SETTING FILE NO FILE BROWSE UPLOAD DOWNLOAD - MIC/LINE MIC/LINE MIC LINE HI PASS FILTER ON OFF PHANTOM ON OFF HI PASS FILTER ON OFF						ZONE7	ZONE 7
SYSTEM CLUCK - VALIGABLE COOK DE LOCA SETTIONS SETTING FILE D'PILE BROWSE UPLOAD DOWNLOAD - MIC/LINE MIC/LINE1 MICOLINE MIC LINE HI PASS FILTER ON OFF PHANTOM ON OFF HI PASS FILTER ON OFF						ZONE8	ZONE 8
SYSTEM CLOR-TURLOORED'I CON TO LOCK SETTING SETTING FILE NO FILE BROWSE UPLOAD DOWNLOAD - MIC/LINE MIC/LINE MIC/LINE MIC/LINE MIC LINE HI PASS FILTER ON OFF PHANTOM ON OFF HI PASS FILTER ON OFF							
SYSTEM CLUCK VARLOCACED* CLOCK DELOTED SETTING FILE NO FILE BROWSE UPLOAD DOWNLOAD - MIC/LINE MIC/LINE MIC LINE HI PASS FILTER ON OFF PHANTOM ON OFF MIC/LINE2 MIC/LINE MIC LINE HI PASS FILTER ON OFF PHANTOM ON OFF MIC/LINE3 MIC/LINE MIC LINE HI PASS FILTER ON OFF PHANTOM ON OFF MIC/LINE3 MIC/LINE MIC LINE HI PASS FILTER ON OFF PHANTOM ON OFF MIC/LINE4 MIC LINE HI PASS FILTER ON OFF MIC/LINE5 MIC LINE HI PASS FILTER ON OFF MIC/LINE5 MIC/LINE MIC LINE HI PASS FILTER ON OFF HI PASS FILTER ON MIC/LINE5 MIC/LINE MIC LINE HI PASS FILTER ON<	_						SAVE
SYSTEM CLUNE CONTOLICION TOLICION SETTIONS SETTING FILE NO FILE NIC/LINE N							
SETTING FILE NO FILE BROWSE UPLOAD DOWNLOAD - MIC/LINE MIC/LINE MIC/LINE MIC/LINE ON OFF HI PASS FILTER ON OFF		SYSTEM 🖁					
SETTING FILE NO FILE BROWSE UPLOAD DOWNLOAD - MIC/LINE MIC/LINE MIC LINE HI PASS FILTER ON OFF PHANTOM ON OFF MIC/LINE2 MIC/LINE MIC LINE HI PASS FILTER ON OFF HI PASS FILTER ON OFF MIC/LINE3 MIC/LINE MIC LINE HI PASS FILTER ON OFF MIC/LINE3 MIC/LINE MIC LINE HI PASS FILTER ON OFF MIC/LINE4 MIC LINE HI PASS FILTER ON OFF MIC/LINE5 MIC LINE HI PASS FILTER ON OFF MIC/LINE5 MIC LINE HI PASS FILTER ON OFF MIC/LINE6 MIC LINE HI PASS FILTER ON OFF HI PA							
MIC/LINE MIC/LINE MIC LINE HI PASS FILTER ON OFF PHANTOM ON OFF HI PASS FILTER ON OFF SOURCE ON OFF		SETTING FIL			BRO		
MIC/LINE MIC/LINE1 MIC/LINE MIC LINE HI PASS FILTER ON OFF PHANTOM ON OFF MIC/LINE2 MIC/LINE MIC LINE HI PASS FILTER ON OFF PHANTOM ON OFF MIC/LINE3 MIC/LINE MIC LINE HI PASS FILTER ON OFF PHANTOM ON OFF MIC/LINE4 MIC/LINE MIC LINE HI PASS FILTER ON OFF PHANTOM ON OFF MIC/LINE5 MIC/LINE MIC LINE HI PASS FILTER ON OFF MIC/LINE5 MIC/LINE MIC LINE HI PASS FILTER ON OFF PHANTOM ON OFF MIC/LINE5 MIC/LINE MIC LINE HI PASS FILTER ON OFF PHANTOM ON OFF MIC/LINE5 MIC/LINE MIC LINE HI PASS FILTER ON OFF PHANTOM ON OFF SOURCE SOURCE ON OFF					Dico	ULCAD	DOMILOAD
MIC/LINE1 MIC/LINE MIC LINE HI PASS FILTER ON OFF HANTOM ON OFF MIC/LINE2 MIC/LINE MIC LINE HI PASS FILTER ON OFF PHANTOM ON OFF MIC/LINE3 MIC/LINE MIC LINE HI PASS FILTER ON OFF PHANTOM ON OFF MIC/LINE4 MIC/LINE MIC LINE HI PASS FILTER ON OFF PHANTOM ON OFF MIC/LINE5 MIC/LINE MIC LINE HI PASS FILTER ON OFF MIC/LINE6 MIC/LINE MIC LINE HI PASS FILTER ON OFF PHANTOM ON OFF MIC/LINE6 MIC/LINE MIC LINE HI PASS FILTER ON OFF PHANTOM ON OFF MIC/LINE6 MIC/LINE MIC LINE HI PASS FILTER ON OFF PHANTOM ON OFF SOURCE		- MIC/LINE -					
HI PASS FILTER ON OFF PHANTOM ON OFF MIC/LINE2 MIC/LINE MIC LINE HI PASS FILTER ON OFF PHANTOM ON OFF MIC/LINE3 MIC/LINE MIC LINE HI PASS FILTER ON OFF PHANTOM ON OFF MIC/LINE4 MIC/LINE MIC LINE HI PASS FILTER ON OFF PHANTOM ON OFF MIC/LINE5 MIC/LINE MIC LINE HI PASS FILTER ON OFF PHANTOM ON OFF MIC/LINE5 MIC/LINE MIC LINE HI PASS FILTER ON OFF PHANTOM ON OFF MIC/LINE5 MIC/LINE MIC LINE HI PASS FILTER ON OFF PHANTOM ON OFF MIC/LINE5 MIC/LINE MIC LINE HI PASS FILTER ON OFF PHANTOM ON OFF SOURCE SOURCE SOURCE ON OFF		MIC/LINE1	MIC/LINE		🔵 МІС		
HIPASS FILTER ON OFF PHANTOM ON OFF MIC/LINE2 MIC/LINE MIC LINE HI PASS FILTER ON OFF PHANTOM ON OFF MIC/LINE3 MIC/LINE MIC LINE HI PASS FILTER ON OFF PHANTOM ON OFF MIC/LINE4 MIC/LINE MIC LINE HI PASS FILTER ON OFF PHANTOM ON OFF MIC/LINE5 MIC/LINE MIC LINE HI PASS FILTER ON OFF PHANTOM ON OFF MIC/LINE6 MIC/LINE MIC LINE HI PASS FILTER ON OFF PHANTOM ON OFF MIC/LINE6 MIC/LINE MIC LINE HI PASS FILTER ON OFF PHANTOM ON OFF MIC/LINE6 MIC/LINE MIC LINE HI PASS FILTER ON OFF SOURCE ON OFF							
PHANTOM ON OFF MIC/LINE2 MIC/LINE MIC LINE HI PASS FILTER ON OFF PHANTOM ON OFF MIC/LINE3 MIC/LINE MIC LINE HI PASS FILTER ON OFF MIC/LINE3 MIC/LINE MIC LINE HI PASS FILTER ON OFF MIC/LINE4 MIC LINE HI PASS FILTER ON OFF MIC/LINE5 MIC LINE HI PASS FILTER ON OFF MIC/LINE5 MIC LINE HI PASS FILTER ON OFF MIC/LINE6 MIC LINE HI PASS FILTER ON OFF SOURCE SOURCE1 GAN			HI PASS FILT	TER		OFF	
MIC/LINE2 MIC/LINE MIC LINE HI PASS FILTER ON OFF PHANTOM ON OFF MIC/LINE3 MIC/LINE MIC LINE HI PASS FILTER ON OFF PHANTOM ON OFF MIC/LINE4 MIC/LINE MIC LINE HI PASS FILTER ON OFF PHANTOM ON OFF MIC/LINE5 MIC/LINE MIC LINE HI PASS FILTER ON OFF PHANTOM ON OFF MIC/LINE6 MIC/LINE MIC LINE HI PASS FILTER ON OFF SOURCE ON OFF			PHANTOM			OFF	
HI PASS FILTER ON OFF PHANTOM ON OFF MIC/LINE3 MIC/LINE MIC LINE HI PASS FILTER ON OFF PHANTOM ON OFF MIC/LINE4 MIC/LINE MIC LINE HI PASS FILTER ON OFF PHANTOM ON OFF MIC/LINE5 MIC/LINE MIC LINE HI PASS FILTER ON OFF PHANTOM ON OFF PHANTOM ON OFF PHANTOM ON OFF PHANTOM ON OFF PHANTOM ON OFF PHANTOM ON OFF		MIC/LINE2	MIC/LINE		🔵 МІС		
PHANTOM ON OFF MIC/LINE3 MIC/LINE MIC LINE HI PASS FILTER ON OFF PHANTOM ON OFF MIC/LINE4 MIC/LINE MIC LINE HI PASS FILTER ON OFF PHANTOM ON OFF MIC/LINE5 MIC/LINE MIC LINE HI PASS FILTER ON OFF PHANTOM ON OFF PHANTOM ON OFF PHANTOM ON OFF PHANTOM ON OFF PHANTOM ON OFF PHANTOM ON OFF			HI PASS FIL 1	FR			
PHANTOM ON OFF MIC/LINE3 MIC/LINE MIC LINE HI PASS FILTER ON OFF PHANTOM ON OFF MIC/LINE4 MIC LINE HI PASS FILTER ON OFF PHANTOM ON OFF MIC/LINE5 MIC LINE HI PASS FILTER ON OFF PHANTOM ON OFF MIC/LINE5 MIC LINE HI PASS FILTER ON OFF PHANTOM ON OFF MIC/LINE6 MIC LINE HI PASS FILTER ON OFF SOURCE SOURCE SOURCE SOURCE GAIN Image: Source S							
MIC/LINE3 MIC/LINE MIC LINE HI PASS FILTER ON OFF PHANTOM ON OFF MIC/LINE4 MIC/LINE MIC LINE HI PASS FILTER ON OFF PHANTOM ON OFF MIC/LINE5 MIC/LINE MIC LINE HI PASS FILTER ON OFF PHANTOM ON OFF MIC/LINE6 MIC/LINE MIC LINE HI PASS FILTER ON OFF PHANTOM OFF SOURCE SOURCE GAIN			PHANTOM			OFF	
HI PASS FILTER ON OFF PHANTOM ON OFF MIC/LINE4 MICILINE MIC LINE HI PASS FILTER ON OFF PHANTOM ON OFF MIC/LINE5 MICILINE MIC LINE HI PASS FILTER ON OFF PHANTOM ON OFF MIC/LINE6 MICILINE HI PASS FILTER ON OFF PHANTOM ON OFF SOURCE SOURCE SOURCE ON OFF		MIC/LINE3	MIC/LINE				
PHANTOM ON OFF MIC/LINE4 MIC/LINE MIC LINE HI PASS FILTER ON OFF PHANTOM ON OFF MIC/LINE5 MIC LINE HI PASS FILTER ON OFF MIC/LINE5 MIC LINE HI PASS FILTER ON OFF MIC/LINE6 MIC/LINE MIC HI PASS FILTER ON OFF MIC/LINE6 MIC/LINE MIC HI PASS FILTER ON OFF SOURCE SOURCE1 GAIN			HI PASS FILT	TER		OFF	
MIC/LINE4 MIC/LINE MIC LINE HI PASS FILTER ON OFF PHANTOM ON OFF MIC/LINE5 MIC/LINE MIC LINE HI PASS FILTER ON OFF PHANTOM ON OFF MIC/LINE6 MIC/LINE MIC LINE HI PASS FILTER ON OFF PHANTOM ON OFF			PHANTOM		O ON	OFF	
MIC/LINE4 MIC/LINE MIC LINE HI PASS FILTER ON OFF PHANTOM ON OFF MIC/LINE5 MIC/LINE MIC LINE HI PASS FILTER ON OFF MIC/LINE6 MIC/LINE MIC LINE HI PASS FILTER ON OFF PHANTOM ON OFF SOURCE SOURCE SOURCE GAIN							
HI PASS FILTER ON OFF PHANTOM ON OFF MIC/LINE5 MIC/LINE MIC LINE HI PASS FILTER ON OFF PHANTOM ON OFF MIC/LINE6 MIC/LINE MIC LINE HI PASS FILTER ON OFF PHANTOM ON OFF SOURCE SOURCE SOURCE OAN		MIC/LINE4	MIC/LINE				
PHANTOM ON OFF MIC/LINE5 MIC/LINE MIC LINE HI PASS FILTER ON OFF PHANTOM ON OFF MIC/LINE6 MIC/LINE MIC LINE HI PASS FILTER ON OFF PHANTOM ON OFF - SOURCE SOURCE GAIN			HI PASS FILT	TER		OFF	
MIC/LINE5 MIC/LINE MIC LINE HI PASS FILTER ON OFF PHANTOM ON OFF MIC/LINE6 MIC/LINE MIC LINE HI PASS FILTER ON OFF PHANTOM ON OFF			PHANTOM			OFF	
HI PASS FILTER ON OFF PHANTOM ON OFF MIC/LINE6 MIC/LINE MIC LINE HI PASS FILTER ON OFF PHANTOM ON OFF SOURCE SOURCE GAIN		MIC/LINE5	MIC/LINE				
PHANTOM ON OFF MIC/LINE6 MIC/LINE MIC LINE HI PASS FILTER ON OFF PHANTOM ON OFF SOURCE SOURCE1 GAIN			HI PASS FILT	TER	ON	OFF	
MIC/LINE6 MIC/LINE MIC LINE HI PASS FILTER ON OFF PHANTOM ON OFF SOURCE SOURCE1 GAIN			PHANTOM				
MIC/LINES MIC/LINE MIC LINE HI PASS FILTER ON OFF PHANTOM ON OFF SOURCE SOURCE GAIN SOURCE GAIN						0.1115	
HI PASS FILTER ON OFF PHANTOM ON OFF SOURCE SOURCE1 GAIN SOURCE2 GAIN		MIC/LINE6	MIC/LINE		MIC		
PHANTOM ON OFF - SOURCE SOURCE1 GAIN			HI PASS FILT	TER	OON	OFF	
SOURCE SOURCE SOURCE SOURCE SOURCE			PHANTOM			OFF	
SOURCE GAIN SOURCE2 GAIN							
SOURCE1 GAIN SOURCE2 GAIN							
SOURCE2 GAIN 048		SOURCE1	GAIN		0d8 v		
		SOURCE2	GAIN		0dB v		

SOURCE3 GAIN

GAIN

GAIN

AGC

COMPENSATION LEVEL

OON

RESPONSE TIME

NOISE GATE

SOURCE4

AUX



- Output:これらの設定を使用して、各ゾーンでの オーディオ出力の管理方法を決定します。
 - Zone Mono/Stereo:ゾーンが再生する オーディオ信号がモノラル(Mono)かバイ ノーラル(Stereo)かを設定します。ステレ オに設定すると、実際には2つのゾーン(た とえば、ゾーン1~2、ゾーン3~4)が使用 され、同じ出力設定を共有します。
 - Priority 設定:各ゾーンには、第1優先順位と第2優先順位の設定があります。(ソースメニューで設定した)マイク/ライン入力が入力オーディオ信号を検出すると、そのゾーンに送信された他の信号は減衰され(「ダッキング」)、入力信号が聞こえるようになります。第1優先順位のソースは、第2優先順位のソースを減衰させます。
 - Volume:入力されるオーディオ信号の 音量を設定します。
 - Source:優先順位のソースを設定します:マイク/ライン1~6またはソースなし(None)。両方の優先順位を同じマイク/ライン入力に設定すると、通常よりも大きく減衰されます。
 - Threshold:スレッショルド値を設定します。現在の信号を減衰させるには、入力されるオーディオ信号が、このスレッショルドよりも大きい必要があります。スレッショルド値が低いほど減衰が大きくなります。

OUTPUT					
ZONE1	MONO/STEREO		STEREO		
	1ST PRIORITY	VOLUME		¢dB -	
		SOURCE		NONE	
		THRESHOLD		-2048	
		ATTACK TIME		100ms	
		HOLD TIME		100ms	
		RELEASE		100ms	
		ATTENUATION	LEVEL	-2018	
	2ND PRIORITY	VOLUME		M8 ·	
		SOURCE		NONE	
		THRESHOLD		-4548	
		ATTACK TIME		100ms -	
		HOLD TIME		100ms -	
		RELEASE		100ms -	
		ATTENUATION	LEVEL	4548	
	DELAY				
	DYNAMICS	ON/OFF			OFF
		THRESHOLD		-1048	
		RATIO			
		ATTACK TIME		100ms -	
		RELEASE		100ms -	
		GAIN		can -	
		KNEE			
ZONE2	PAIRED WITH ZONE1				

- Attack Time:現在の信号が減衰するまでの時間を設定します。
- Hold Time:入力されたオーディオがスレッショルドを下回った後、現在の信号が完全に減 衰している時間を設定します。
- Release:入力されたオーディオ信号がスレッショルドを下回った後、減衰した信号が完全に 元のレベルに戻るまでの時間を設定します。
- Attenuation Level:現在の信号の音量をどれくらい減衰させるかを設定できます(「ダッキング」)。
- Delay:受信したオーディオ信号をゾーンで再生するまでの時間を設定します。これは、複数のゾーンで同じオーディオ信号が再生されている場合に役立ちます。特定のエリアのリスナーには同じゾーンのサウンドが、異なったタイミングで届くことになるため、ゾーンのオーディオ出力を遅らせることで、この影響を補正することができます。
- **Dynamics**: ゾーンの出力信号の(圧縮による)ダイナミック・コントロールを決定します。
 - On/Off: ゾーンのダイナミック・コントロールを有効(On)または無効(Off)にできます。
 - Threshold:スレッショルド値を設定します。ダイナミック・コントロールをトリガーするには、 入力されるオーディオ信号が、このスレッショルドよりも大きい必要があります。
 - Ratio:ダイナミック・コントロールのレシオ(これは信号が元のレベルに対してどのくらい減 衰するかを決定します)を設定します。
 - Attack Time: ダイナミック・コントロールが信号を圧縮するまでの時間を設定します。
 - Release:入力されたオーディオ信号がスレッショルドを下回った後、圧縮された信号が元のレベルに戻るまでの時間を設定します。
 - Gain:信号が圧縮された後に適用するゲインを設定します。
 - Knee:ダイナミック・コントロールの二一を設定します。これは、スレッショルド値で圧縮が 適用されたときの「カーブ」の鋭さまたは滑らかさを決定します。ハードニーは劇的な圧縮効 果をもたらし、一方ソフトニーはより自然な圧縮効果を得ることができます。

DENON

- Mute:音楽のみ(Music)またはすべての 音声信号(All)をミュートするには、これら のボタンのいずれかを選択します。
- Ethernet: イーサネット設定を構成する場合に使用します。いずれかのモードボタンをクリックして、自動的にネットワーク設定を検出する(Auto)か、自分で入力した設定を使用するように設定(Manual)します。IP Address、Subnet Mask、Gateway、または IP Control Port をクリックし、コンピューターのキーボードを使って数値を入力します。
- Baudrate: 各ポートボタンの1つをクリックして、ボーレートを設定します。RS232Cはリモートポート用です。RS422はRS-422ポート用です。各レートはビット/秒(BPS)で示されます。
- Amp:ハイパスフィルター(70V、 100V、Off)、Hi Pass Filterの有効 (On)または無効(Off)、BTLモードの有

- MUTE			
MUTE	MUTE	O MUSIC	CALL
- ETHERNET			
ETHERNET	MODE	ο Αυτο	O MANUAL
- BAUDRATE			
BAUDRATE	R\$232C	O 9600PBS	38400PBS
	R\$422	38400PBS	O 115200PBS
- AMP			
OPTIONS	HI IMPEDANCE MODE	O 70V	0 100V 🔵 OFF
	HI PASS FILTER		OFF
	BTL	ON	O OFF
	IMPEDANCE MODE	0 40hm	C 80hm
- TIME			
TIME	SYSTEM TIME	MONTH JANUARY V	DAY YEAR HOUR MINUTE SECOND 1 v 2000 v 6 v 3 v 11 v
	DAYLIGHT SAVING	ENABLE	ON OFF
		START	MONTH DAY HOUR 5 V 5 V 0 V
		END	MONTH DAY HOUR 1 V 1 V 0 V
		OFFSET	HOUR MIN 00.00 V

- 効(On)無効(Off)、および Impedance Mode(4 オームまたはオーム)を設定します。
- Time: System Time の横にある各メニューをクリックして、現在の月、日、年、時、分、秒を設定します。
 本機はこれを Web インターフェイスの最上部に表示し、スケジューリングに使用します。
 Enable ボタンのいずれかをクリックして、サマータイムの有効(On)または無効(Off)を設定します。
 オンの場合、その下の各メニューをクリックして、夏時間の開始、および終了する月、日、時間を設定します。
 Offset メニューは、時間のシフト量を選択します。
- Password:本機すべての機能を制御でき る管理者(Admin)または特定の機能のみ を制御できるオペレーター(Operator)の 新しいパスワードを設定します。各フィールド をクリックし、現在のパスワード(旧パスワー ド)と新しいパスワードを2回入力します (New Password と Confirm Pass word)。Save をクリックして新しいパスワー ドを保存します。
- Firmware:アップロードする本機用ファームウェアファイルが表示されます。コンピューターからファームウェアファイルを本機にアップロードするには、Browseをクリックし、ファイルを探して選択します。その後、Verifyをクリックしてファイルが有効であることを確認します。ファイルが有効な場合、Executeをクリックしてファームウェアを更新します。

重要:本機の最新のファームウェアをダウン ロードするには、

inmusicbrands.jp/denon_pro/ を ご覧ください。

 Information:このセクションには、 (Ethernet セクションで設定した)現在の ネットワークアドレスと(Firmware セクショ ンで設定した)ファームウェアバージョンを表 示します。

- PASSWORD			
ADMIN	OLD PASSWORD		
	NEW PASSWORD		
	CONFIRM PASSWORD		
		SAVE	
OPERATOR	OLD PASSWORD		
	NEW PASSWORD		
	CONFIRM PASSWORD		
		SAVE	
- FIRMWARE			
FIRMWARE	NO FILE	BROWSE	EXECUTE
NETWORK	IP ADDRESS	192.168.1.120	
	SUBNET MASK	255.255.254.0	
	GATEWAY	192.168.1.120	
	IP CONTROL PORT	80	
FIRMWARE	VERSION	15.00.11.00	

トラブルシューティング

問題が発生した場合は、以下の項目を確認してください。

- すべてのケーブル、デバイス、またはメディアが正しく確実に接続されていること。
- 本書ユーザーガイドで記載されている通りに本機を使用していること。
- その他のデバイスやメディアが正しく動作していること。
- 本体が正常に動作していないと思われる場合は、以下の表で問題と解決方法を確認してください。

問題	対処法
電源が入らない。	装置がコンセントに正しく接続されていることを確認し てください。
本体が音を出さない、または音が歪んでいる。	すべてのケーブル、デバイス、またはメディアの接続 が確実で、正しいことを確認してください。 ケーブルが損傷していないことを確認してください。 アンプ、ミキサーなどの設定が正しいことを確認してく ださい。 ソースと出力の設定を正しく設定してください。 選択したゾーンがミュートされていないことを確認して ください。
_ 本体が歪んだ音を出力している。	すべてのケーブル、デバイス、またはメディアの接続 が確実で、正しいことを確認してください。 ケーブルが損傷していないことを確認してください。 アンプ、ミキサーなどの設定が正しいことを確認してく ださい。
 ソースの音声が低すぎるか、音がノイズ混じりに聞こ える。	ゲインが正しく設定されていることを確認してください。 チャンネルが適切なラインレベルまたはマイクレベルの 信号を受信するように設定されていることを確認してく ださい。
マイクの音が出ない。	接続が確実で正しいことを確認してください。 マイクの製造元にファンタム電源が必要かどうかを確 認してください。
 ステレオサウンドの場合、楽器の位置が左右に反転さ れる。	スピーカーと入力の接続が正しく配線されていること を確認してください。



付録

技術仕様

オーディオ仕様

周波数特性:	20Hz~20kHz (+0.5dB)
ダイナミックレンジ:	> 109dB (A-weighted)
S/N 比:	> 89dB (A-weighted)
ヘッドルーム:	> 20dB
マイク入力 EIN:	<-127dBu (Rs = 150Ω、DIN)
マイク入力 CMRR:	> 80dB
最大ゲイン:	88dB(マイク入力からマスター出力)
チャンネル・セパレーション:	< -100dB
THD(マイク / ライン入力):	< 0.05%
THD(ST 入力):	< 0.01%
アナログ入力:	マイク入力: 最大:-40 to -20dBu(+4 dBu)
	ユニティ:-60 to -40dBu (-16 dBu)
	ライン入力: 最大:-20 to 0dBu(+24 dBu)
	ユニティ:-40 to -20dBu (+4 dBu)
	ST 入力: 最大:+ 18dBV
	ユニティ:0dBV
	AUX 入力: 最大:+ 18dBV
	ユニティ:OdBV
	AUX 入力(ライン): 最大:+ 24dBu
	ユニティ:+ 4dBu
アナログ出力:	ゾーン 1~8 出力:最大:+ 24dBu
	ユニティ:+ 4dBu
	スピーカー(アンプ)出力:ローインピーダンス:60W @ 8Ω / 4Ω
	ローインピーダンス BTL:120W @ 8Ω / 4Ω、2 Zone BTL
	ハイインピーダンス:70V/120W、100V/120W、2 Zone BTL



エフェクト	
イコライザー(3 バンド、入力):	ハイ(シェルビング):100Hz~20kHz(+ 18dB) PEQ:100Hz~20kHz(+ 18dB)、Q:0.1~63.0 ロー(シェルビング):20Hz~20kHz(+ 18dB)
イコライザー(5 バンド、出力):	ハイ PEQ: 100Hz~20kHz (+ 18dB)、Q: 0.1~63.0 ミッドハイ PEQ: 100Hz~20kHz (+ 18dB)、Q: 0.1~63.0 ミッド PEQ: 100Hz~20kHz (+ 18dB)、Q: 0.1~63.0 ミッドロー PEQ: 100Hz~20kHz (+ 18dB)、Q: 0.1~63.0 ロー PEQ: 20Hz~20kHz (+ 18dB)、Q: 0.1~63.0
ディレイ:	アッテネーション:0~1000ms
8 オートマティック・ゲイン・コントロール(AGC)	: 補償:1~5 反応時間:100~500ms ノイズゲート:< - 80dBFS
優先アッテネーション(1 位、2 位):	スレッショルド:- 74 to - 20dBFS アッテネーション:-∞ to 0dB アタックタイム:0~300ms ホールドタイム:1~1960ms リリースタイム:3~4270ms
ダイナミクス(コンプレッサー / リミッター):	スレッショルド: -92 to -20dBFS レシオ: 1.0: 1 ~ 20.0: 1、∞: 1 アタックタイム: 0~120ms リリースタイム: 3~4270ms ゲイン: 0 to + 20dB ニー: Hard、1~5
オート・フェードイン・アウト(ソースセレクター):	アッテネーション: - 30dB アタックタイム: 100ms ホールドタイム&ミキシング: 100ms リリースタイム: 100ms

DENON

コミュニケーション

RS-232C :	端子:9-pin D-Sub メス (Remote Input)、9-pin D-Sub オス (Remote Extend output)
	速度:9600/38400 bps
RS-422 :	電源:+ 5V via D-Sub 接続
	端子:RJ-45
Ethernet :	速度:38400bps
	ターミナル:110Ω on/off
	電源:+ 5V via RJ-45 接続
	端子:LAN ポート
	規格:Ethernet 10/100Base

その他・一般

レベル・インジケーター:	マイク / ライン:1 LED(緑 - 橙 - 赤)マイク / ライン入力ごと
	ソース:1 LED (緑 - 橙 - 赤) ST 入力ごと
	出力:1 LED(緑 - 橙 - 赤) ゾーンごと
	保護:1 LED(赤)スピーカー出力ゾーンごと
	ピークインジケーター:- 1dB to 0dB
端子:	(2) 5-pin ユーロブロック入力(2 hot、2 cold、1 ground)
	(2) 4-pin ユーロブロック入力(1 hot、1 cold、1 ground、1 page switch)
	(4)3-pin ユーロブロック入力(1 hot、1 cold、1 ground)
	(1)ステレオ RCA 外部入力
	(1)ステレオ 1/8"(3.5 mm)外部入力
	(4) ステレオ RCA ST 入力
	(4) 5-pin ユーロブロック出力(2 hot、2 cold、1 ground)
	(5) 2-pin ユーロブロック出力(1 positive、1 negative)
	(1)LAN 端子
	(1) RJ-45、RS-422
	(1) 9-pin D-Sub メス、RS-232C
	(1) 9-pin D-Sub オス、RS-232C
	(1) IEC 電源端子
動作環境:	5~35°C
	25~85%(結露なきこと)
電源端子:	IEC
電源:	100~240V AC、50/60 Hz
消費電力:	130 W @ 1/8 of output power
サイズ:	約 483 x 415 x 88mm(W x D x H)
重量:	約 10.7kg



商標およびライセンス

Denon は、D&M Holdings Inc.,の商標で、米国およびその他の国々で登録されています。

Blu-ray、Blu-ray Disc、およびロゴは Blu-ray Disc Association の商標です。

その他、すべての製品名、会社名、商標やトレードネームは、それぞれの所有者に帰属します。



inmusicbrands.jp/denon_pro

Manual Version 1.2